

受けるまえに知っておきたい

がん検診のメリットとデメリット

メリット



がんにより
死亡するリスクを
減らすことが
できる



早期発見で
体に負担の少ない
治療で済ませる
ことができる

デメリット



がんを
必ず見つけれら
るわけではない



不必要な
検査や治療を
招く可能性がある



検診として検査を
受けることで、まれに
事故等を招くことがある

がんではないのに「がんの疑いがある」と判定されたり(偽陽性)、生命に影響しないがんを見つけてしまう(過剰診断)ことがあります。

国推奨の5つのがん検診は、メリットがデメリットより大きい!

国が推奨する5つのがん検診(胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診)は、推奨される条件を守って受診することで、メリットがデメリットを上回ることが科学的に証明されています。



注意

がん検診対象者は **症状がない人 = 健康な人** です
症状のある方は、次の検診まで待たず、すぐに医療機関を受診してください。

東京都

退職後も **継続** しましょう!

がん検診

これからは、**お住まいの区市町村で**
がん検診を受けられます。



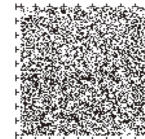
じぶん
に
献
身
が
ん
検
診
。

東京都
がん検診啓発キャラクター
モシカモくん

日本人の**2人に1人**がなるという“がん”。

早期のうちにはほとんど**自覚症状がありません**。

だから今、**健康な方こそ定期的に**がん検診を受けましょう!



これまで
職場で受けていたがん検診は

お住まいの
区市町村で
受けられます!

さらに!
検診費用の一部または全額を
区市町村が負担しています

※自己負担額は、区市町村や
検診内容によって異なります。



各区市町村の
がん検診関連情報はこちら

東京都のがん検診ポータルサイト
「受けよう!がん検診」
区市町村のがん検診担当部署



お住まいの地域によって、
検診の実施時期や
申込方法等が異なります

一度、お住まいの区市町村の
がん検診について調べてみましょう!

＼ がん検診について、もっと知りたい方はこちら /

受けよう!がん検診
デジタルブック版

女性の健康を支援するポータルサイト
TOKYO #女子けんこう部

各がん検診や精密検査の概要がわかるパンフレットです。

大切な、わたしのからだ。チェックしよう。ケアしよう。

TOKYO #女子けんこう部

乳がんや子宮頸がんなどの
女性の健康にまつわることを、
マンガやコラムで読むことができます。

国が推奨する5つのがん検診

	検査内容	対象年齢	受診間隔
胃がん検診	<ul style="list-style-type: none"> 問診 胃部エックス線検査または胃内視鏡検査 	※1 50歳以上	※1 2年に1回
肺がん検診	<ul style="list-style-type: none"> 質問(問診) 胸部エックス線検査 喀痰細胞診 (50歳以上で喫煙指数が600以上の方) 	40歳以上	1年に1回
大腸がん検診	<ul style="list-style-type: none"> 問診 便潜血検査 	40歳以上	1年に1回
乳がん検診	<ul style="list-style-type: none"> 質問(問診) 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) 	40歳以上 女性	2年に1回
子宮頸がん検診※2	<ul style="list-style-type: none"> 問診 細胞診 視診 内診 	20歳以上 女性	2年に1回

※1 胃部エックス線検査については、当分の間、40歳以上1年に1回受診しても差し支えないとしています。
※2 細胞診の場合。

がん検診を受けて

検診結果が

「**要精密検査**」 →
であった場合…

もう一度
がん検診を
受ける



必ず
精密検査を
受ける

これからのがん検診 **こんなことにも要注意!**

がん検診をきっかけに体に負担のある検査や治療が行われることもあります。特にご高齢の方の場合は、ご自分の想定よりも体力の予備能が乏しいので、かかりつけの医師がある方はよくご相談のうえ、受診すべきかどうかを決めましょう。



特に注意が必要な
検診についてはこちら

